

株式会社レダックス

2026年3月期 第2四半期

決算説明資料

2025年11月12日

東証スタンダード:7602



1. 2026年 3 月期 第 2 四半期決算の状況

- ① 国内中古車市場及び海外輸出の状況
- ② 第 2 四半期連結損益計算書
- ③ 第 2 四半期連結貸借対照表
- ④ 第 2 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑤ 四半期別比較
- ⑥ 金融・投資・M & A・不動産関連
- ⑦ 営業展開の状況

2. 2026年 3 月期 通期連結業績予想

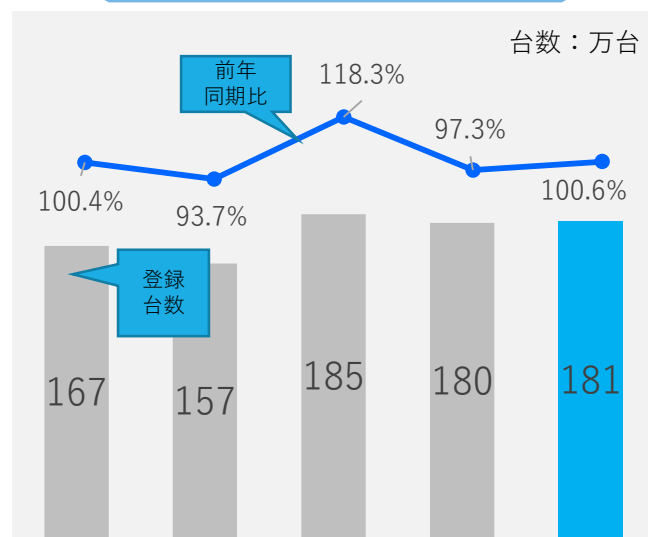
1. 2026年 3 月期 第 2 四半期決算の状況

2026年3月期 第2四半期決算の状況

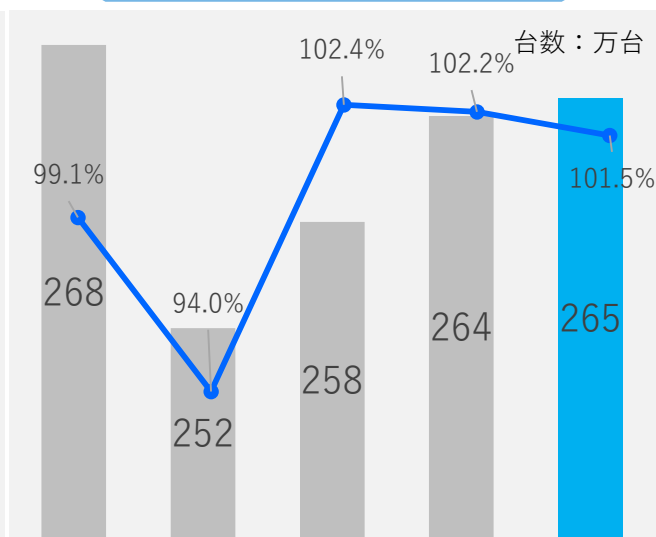
① 国内中古車市場及び海外輸出の状況

- ◆ 2025年4月～9月期間の新車登録台数（軽自動車含む）は約181万台（前年同期比0.6%増）となりました。また、中古車登録台数（軽自動車含む）は約265万台（前年同期比1.5%増）となりました。
- ◆ 同期間の中古乗用車の海外輸出状況は約76万台（前年同期比15.7%増）となりました。

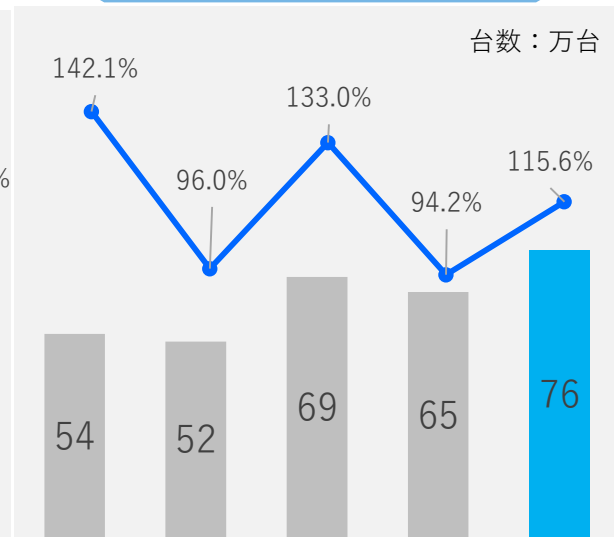
新車登録台数



中古車登録台数



海外輸出台数



2022年3月期 第2四半期 2023年3月期 第2四半期 2024年3月期 第2四半期 2025年3月期 第2四半期 2026年3月期 第2四半期

出展：一般社団法人日本自動車販売協会連合会
一般社団法人全国軽自動車協会連合会
財務省貿易統計(中古乗用車)

2026年3月期 第2四半期決算の状況

② 第2四半期連結損益計算書(連結PL)

- ◆ 当2026年3月期第2四半期は前年同期と比較し、減収減益となりました。株式会社カーチスにおいて、在庫車両構成の一新などにより、前期と比較し、売上総利益及び粗利率が改善いたしました。

■2026年3月期 第2四半期 連結損益計算書

単位：百万円

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年差異	2026年3月期	進捗率
			増減	通期業績予想	
売上高	9,759	9,275	－484	22,000	42.1%
売上総利益	1,447	1,466	＋19	—	—
販管費	1,516	1,600	＋84	—	—
営業利益	△69	△133	－64	350	—
経常利益	△29	△101	－72	350	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	△47	△85	－38	245	—
粗利率	14.8%	15.8%	＋1.0%		

2026年 3 月期 第 2 四半期決算の状況

③ 第 2 四半期連結貸借対照表(連結BS)

- ◆ 総資産は6,706百万円となり、主な要因は現金及び預金の減少166百万円、売掛金の減少289百万円、商品の増加150百万円などによるものであります。
- ◆ 負債合計は1,937百万円となり、主な要因は買掛金の減少299百万円などによるものであります。
- ◆ 純資産は4,769百万円となり、主な要因は利益剰余金の減少85百万円などによるものであります。
- ◆ 高い自己資本比率を維持し、財務健全性を確保しております。

■2026年 3 月期 第 2 四半期 連結貸借対照表

単位：百万円

		2025年 3 月期末	2026年 3 月期 第 2 四半期	前年差異
				増減
	流動資産	5,431	5,142	－ 289
	固定資産	1,640	1,564	－ 76
資産合計		7,072	6,706	－ 366
	流動負債	1,863	1,595	－ 268
	固定負債	351	342	－ 9
負債合計		2,214	1,937	－ 277
純資産合計		4,858	4,769	－ 89
負債・純資産合計		7,072	6,706	－ 366
自己資本比率		65.2%	67.4%	+2.2%

2026年 3 月期 第 2 四半期決算の状況

④ 第 2 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業活動の結果使用した資金は189百万円となりました。主な要因は売上債権の減少額289百万円、棚卸資産の増加額151百万円及び仕入債務の減少額299百万円などによるものです。営業キャッシュフローの赤字幅は大幅に改善しております。
- ◆ 投資活動の結果獲得した資金は38百万円となりました。主な要因は有価証券の売却による収入40百万円によるものです。有価証券の売却により収入超過となっております。
- ◆ 財務活動の結果使用した資金は15百万円となりました。主な要因はリース債務の返済による支出14百万円などによるものです。手元流動性を確保しつつ、財務の健全性を維持しております。
- ◆ 現金及び現金同等物の残高は1,487百万円となりました。

■ 2026年 3 月期 第 2 四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

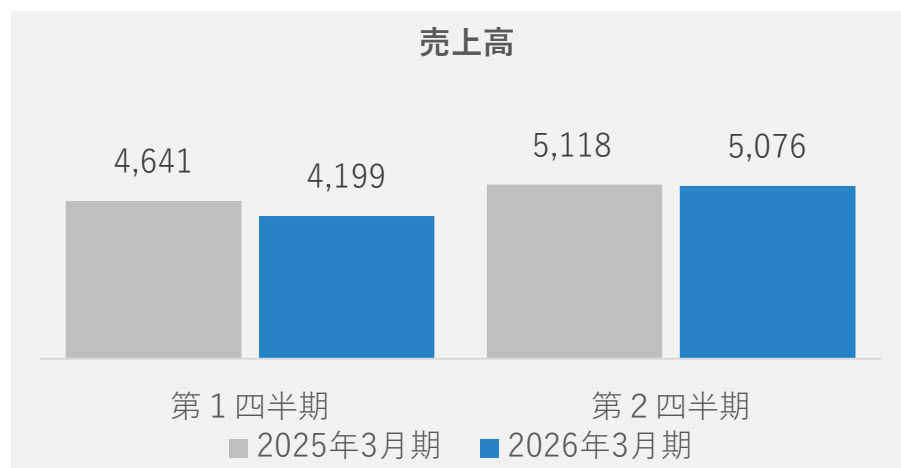
	2025年 3 月期 第 2 四半期	2026年 3 月期 第 2 四半期	前年差異
			増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△831	△189	+ 642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	38	+ 115
財務活動によるキャッシュ・フロー	112	△15	- 127
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,597	1,487	- 110

2026年3月期 第2四半期決算の状況

⑤ 四半期別比較

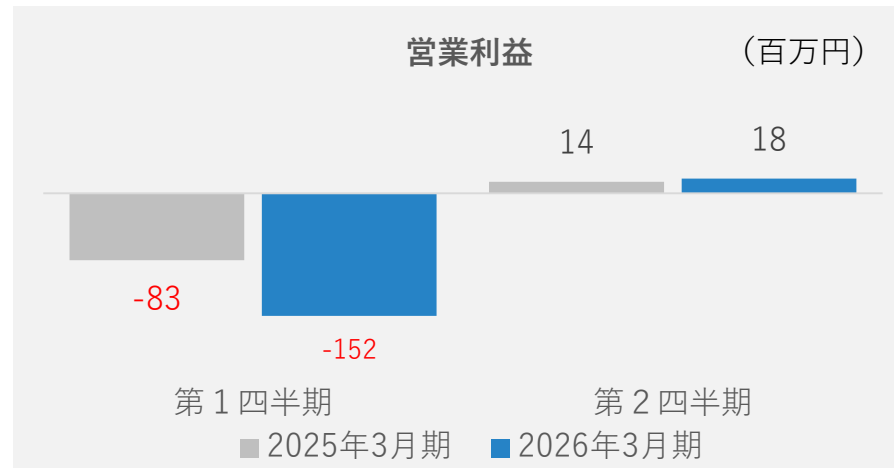
- ◆ 2026年3月期の第2四半期(7月～9月)においては、株式会社カーチスにおいて、組織・運営体制を見直し、在庫車両構成を一新したことにより、在庫回転率及び粗利率の向上を実現しております。また、金融投資事業部の投資案件により、第1四半期に対して各利益が大幅に改善しております。

売上高

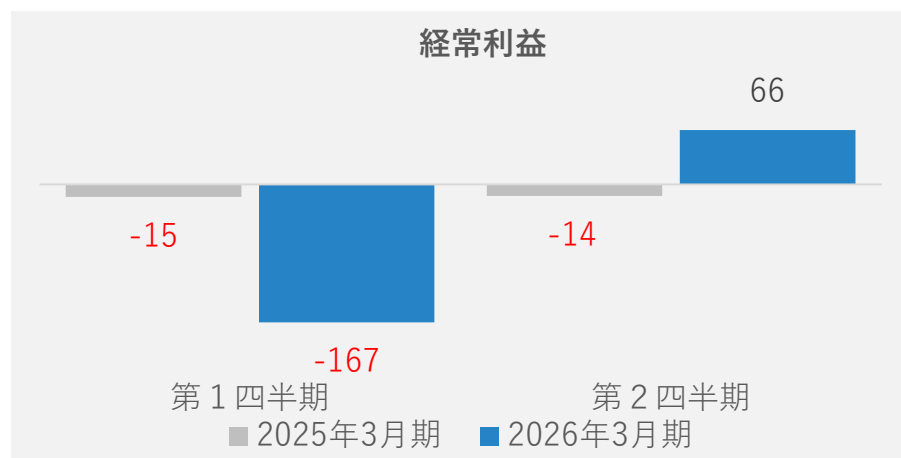


営業利益

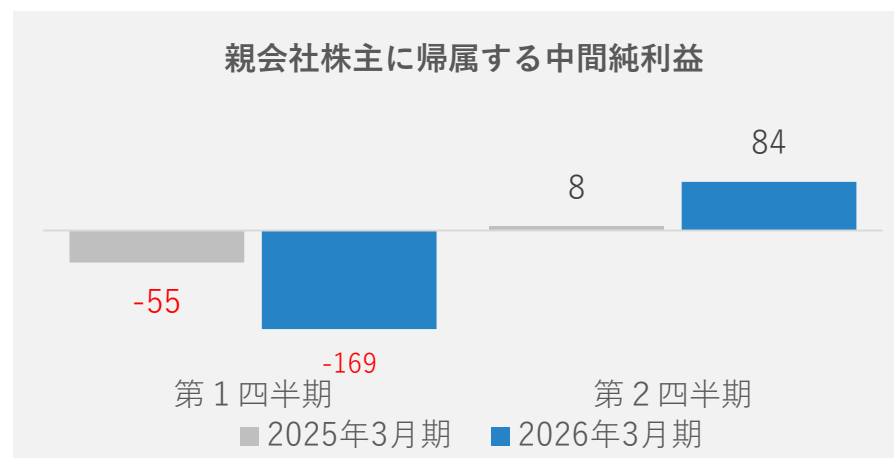
(百万円)



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



- ◆ 2024年7月31日に取得した株式会社O S M I Cホールディングスの株式譲渡により、37百万円の株式譲渡益を営業外収益として計上しました。また、純投資として保有しておりました非上場会社株式を譲渡し、当中間連結会計期間における特別利益として33百万円を計上しております。今後も意欲的な投資事業を推進し、新たな収益源の創出に努めます。

株式取得後1年未満(約11.5ヶ月)という短期間で、
投資元本に対し20倍(投資収益率1,900%)の
譲渡価額を達成しました。

取得価額2百万円

2024年7月31日取得

譲渡価額
40 百万円

2025年7月15日譲渡

1. 国内事業

- ◆ 株式会社カーチスの組織・運営体制の大幅な見直しによる在庫車両構成の一新により、在庫回転率及び粗利率の向上を実現しました。
- ◆ 「顧客ファースト」による買取直販の推進を継続するとともに、保証・メンテナンスパッケージなど付帯サービス強化により顧客サービスの向上を図っております。
- ◆ 既納客へのアプローチを増やし、取引後も関係性を構築することにより、「生涯顧客」としての継続的な取引を増やしております。

2. 海外事業

- ◆ 株式会社アガスタによるアジア・オセアニア・アフリカ諸国への輸出が好調を維持しております。
- ◆ ウガンダオフィス、パキスタンコールセンターとの連携により、周辺諸国との事業展開を進めております。

3. リースバック関連事業

- ◆ 株式会社カーチスロジテックの総合物流商社化を目指し、リース・リースバック事業の拡大を進めております。

4. 投資関連事業

- ◆ 純投資目的で取得した、株式会社OSMICホールディングス（高糖度フルーツミニトマトの生産販売等農業ビジネスを手掛ける株式会社OSMICの完全親会社）の株式譲渡により、株式売却益を計上しております。今後も意欲的に投資事業を推進してまいります。

2. 2026年3月期 通期連結業績予想

2026年3月期 通期連結業績予想

■売上高

通期**22,000**百万円
(前年比9.8%増)

単位：百万円



■経常利益

通期**350**百万円
(前年比493百万円増)

単位：百万円



■営業利益

通期**350**百万円
(前年比549百万円増)

単位：百万円



■親会社株主に帰属する当期純利益

通期**245**百万円
(前年比432百万円増)

単位：百万円



免責事項

本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料には、当社グループの計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が掲載されており、これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスク及び不確実な要素が含まれています。

当社の業績は、経済情勢、事業環境、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

当社は、本資料の利用または付随して生じたいかなる損害も、一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。